

スポーツ少年団感染防止対策チェックリスト

- スポーツ少年団の関係者（指導者、役員スタッフ、団員とその同居する家族）に感染者及び濃厚接触者が確認されていない場合、以下のチェックを全て満たした上で、田川地区内での活動に限り可能とします。（ただし、全国大会等へ繋がる大会等への出場の際は、移動先での感染防止対策の徹底を条件に、県外移動も含め可とします。）

団体名

✓	感染防止対策責任者がチェックする項目	令和 年 月 日 ()
	1 参加者について 参加者は単一団体のみとし、保護者等の参加は必要最低限に留めていることを確認している。	
	2 検温について 活動前に、活動場所において参加者全員に検温を実施し、責任者が点検の上、発熱者(37℃以上)がいないことを確認している。また平熱より高い者がいる場合はその理由を確認している。 ※発熱者等がいる場合は帰宅させ、医療機関を受診させること。	
	3 健康観察について 活動前に、活動場所で参加者全員の健康観察を行い、風邪症状等をはじめ、腹痛や下痢、倦怠感など体調に変化がある者がいないことを確認している。 特に、オミクロン株の特性を踏まえ、発熱はなくとも、咽頭痛(のどの痛み)、鼻汁などの症状がある者がいないか確認を強化すること。 ※以上のような症状がある者は帰宅させ、医療機関を受診させること。	
	4 複数の参加者に症状がある場合 活動前に、複数の参加者に風邪症状等がみられる場合は、活動中止等の措置を取る。	
	5 参加者の家族について 参加者の家族に感染者、感染の疑いがある者、風邪症状等がみられる者がいないことを確認している。併せて家庭に対しても協力を依頼している。	
	6 マスク着用について 活動前後や会話時などのスポーツを行っていない際は、マスク(不織布が望ましい)着用の指導を徹底している。	
	7 飲食について 団員等に、飲食をさせる場合は特に注意し、マスクを外して会話をしないことや十分な間隔をとって同じ方向を向くことなどについて指導している。	
	8 活動終了後の速やかな解散について 活動前後の集団での飲食は控え、速やかに帰宅するよう指導している。	
	9 <u>練習試合等の他団体等との交流について</u> <u>他団体との交流は、田川地区内とし、参加校同士で検温状況など本チェックリストに示す感染防止対策の実施状況をクロスチェックしている。</u>	